

千一翁宗守居士三百五十年忌記念
特別講演会

一翁と三千家の成立

武者小路千家官休庵

講演者・熊倉功夫 茶道史家・MIHOMUSEUM館長

コーディネーター・千宗屋 武者小路千家家元後嗣



官休庵外観

プログラム

① 講演 「千一翁宗守について」

木津宗詮 武者小路千家家元教授

② 特別講演 「一翁と三千家の成立」

熊倉功夫

③ 熊倉功夫、千宗屋、木津宗詮による
パネルディスカッション



一翁宗守画像

日時：令和7年**3月29日**(土)
14:00～17:00(予定)

会場：京都産業会館ホール 北室
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター2階

要予約・入場無料 先着300名

主催 公益財団法人 官休庵
後援 京都市

一翁と三千家の成立

千一翁宗守居士三百五十年忌記念
特別講演会

武者小路千家について

武者小路千家は、茶道流派の一つで、千利休から家督を継いだ千宗旦の三人の子のうち、次男一翁宗守、三男江岑宗左、四男仙叟宗室がそれぞれ武者小路千家、表千家、裏千家を創設し、併せて三千家といわれています。

当家は京都市上京区武者小路通に位置し、それが家名の由来になっております。また「官休庵」という名称は一翁が創設した一畳台目の茶室を指しますが、公益財団法人全体の名称ともなっております。

千一翁宗守について

千一翁宗守（似休斎：1605-1676）は武者小路千家四代、官休庵の祖にあたります。千利休の孫元伯宗旦の子として生まれ、はじめ塗師屋吉文字屋を営み吉岡甚右衛門を名乗りました。晩年、千氏に復し讃岐松平家の茶頭となり、のち武者小路の地に茶室「官休庵」を建て広く利休正風の茶の湯を教授しました。

一翁の齋号「似休斎」が示すように利休を追求し、道号の「一翁」と安名と「宗守」から「一」を守る」という茶風を確立しました。



熊倉 功夫

茶道史家・MIHO MUSEUM 館長



千 宗屋

武者小路千家家元後嗣



木津 宗詮

武者小路千家家元教授

今後の一翁宗守居士 350 年忌記念事業

- 350年忌記念書籍「一翁の茶の湯」（仮題）の発刊
- 大徳寺にて 350年忌法要茶会の開催
日程：10月19日（日）

予約・問合せ 官休庵事務局

Tel. 075-411-1000

E-mail. info@mushakouji-senke.or.jp

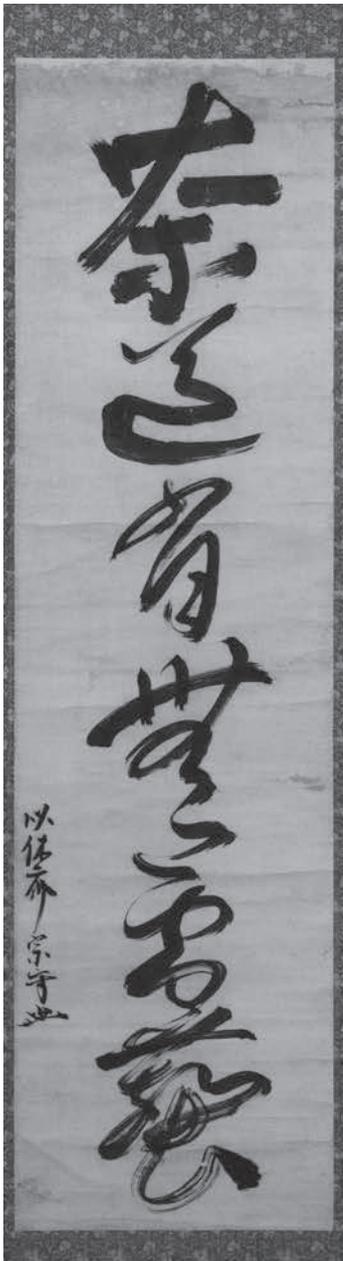
主催 公益財団法人 官休庵

後援 京都市

会場へのアクセス

お越しの際は、
電車バス等の公共交通機関をご利用ください

- 市営地下鉄烏丸線「四条駅」下車 北改札口より、徒歩2分
- 阪急京都線「烏丸駅」下車 西改札口より、徒歩2分
(地下鉄・阪急/地下道 26 出口)



一翁一行 茶道有無雪塵